

自分たちのまちは自分たちでつくろう

コミュニティ

ふしおだい

発行:伏尾台コミュニティ推進協議会広報委員会 池田市伏尾台5丁目2-3 /平成27年03月01日

日本初・池田発
地域分権
ふしおだい
コミュニティ誌

特別号

保存版

Vol.13

2007年よりスタートした「地域分権」制度

8年間の伏尾台コミュニティ推進協議会の活動です!

2008年9月(青パト開始)から
2015年2月 現在までの

数字で見る伏尾台の青パト[※]



乗車した
安全パトロール隊員の人数



のべ
約9000人

安全パトロール車走行距離

約48000km



2008年9月 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015年2月現在

※伏尾台の青パト(伏尾台安全パトロール)は「自分たちのまちは自分たちで守る」を理念とした住民自らによるボランティア活動です。

2007-2014 年度

8年間のまちづくり

伏尾台コミュニティ推進協議会では「自分たちのまちは自分たちでつくる」を合言葉に、伏尾台小学校区でこれまで8年間様々な提案を行い、実行してまいりました。

伏尾台は住宅地であるため、住民の皆さんの安心・安全のための取り組みが多く、中でも子育て支援事業は立ち上げから運営まで、現在も協議会会員およびボランティアの皆様が共に行っており、他地域からも注目されています。

また 2015年秋には、誰もが集えるコミュニティプラザを伏尾台センターに開設する予定です。

今後も継続して伏尾台住民の皆さんの暮らしに役立つ、喜びにつながるような事業提案を行ってまいります。

青パト（伏尾台安全パトロール隊）の導入および運用

2015年2月現在、約70名の伏尾台住民ボランティアによって1日2〜3時間のパトロールを行っています（小学校登校日）。完全なボランティア運営による稼働率としては非常に高いと、市や警察からも評価をいただいています。（表紙参照）2014年に大阪府警本部から表彰を受けました。



防犯カメラを6箇所（14台）設置

2010年より随時増設を行い、2015年2月現在6箇所（14台）設置しています。

■伏尾台の空き巣犯罪発生件数の推移（伏尾台防災防犯委員会資料より）



第2公園に遊具設置



第1公園に水飲み場設置



防災備蓄倉庫（第二コミセン）



中央公園リニューアル計画への参画（市が主導の計画）スプリング遊具の設置、遊歩道に手すり設置、ほか



防災備蓄倉庫（遊水地入口）

第一コミセン改修
1階トイレバリアフリー化
乳幼児用座椅子の設置
2階調理室改修
2階トイレ改修
小会議室エアコン交換
カーテン入れ替え
1階和室障子のカーテン化
外壁に時計の設置



センターバス停付近にベンチ設置



子育て支援「フレンズ」開設
年2回の会員宅への訪問／春休みなどに元会員のママの会・児童の集いを開催／里帰りする乳幼児の受け入れ



地域活性イベント「山びこフェスタ・落語の会」



地域活性イベント「山びこフェスタ・コンサート」



子ども会・子ども神輿を新調
自治会連合会の夏祭りに補助金
子供会の御輿巡行に補助金



公園樹木に解説プレート設置
中央公園では子ども会と共同で、プレート設置&焼き芋イベントを開催しました



子ども会・子ども神輿を新調
自治会連合会の夏祭りに補助金
子供会の御輿巡行に補助金

その他事業

地域全体の街路灯の整備および新設
地域全体の掲示板の改修および新設
AEDの設置（伏尾台センターミニコブ内、阪急バス営業所内）
※AEDは協議会が設置した上記2箇所以外に、小・中学校、池北高、セラージュにも設置されています（2015年2月現在）。
久安寺への散策路整備（細河コミュニティ推進協議会との共同事業）
など、多数。



地域分権ってなに？

自分たちのまちは自分たちでつくろう

地域分権は、地域の人が「自分たちにとってより良いまちづくり」のため、組織として自発的に話し合い、市に対して事業提案するというものです。

この組織は「地域コミュニティ推進協議会」と呼ばれ翌年度に提案を事業化するための「予算提案権」が与えられています。

平成19年に始まった池田発・日本初の試みです。

制度の内容や各校区の取り組みなど、詳しくは池田市のホームページをご覧ください

もう少し詳しく教えて！

「予算提案権」は、地域の課題解決を目的に、各協議会で合意された提案事業に対し年間500～700万円を上限として、市民税の一部を予算化するものです。地域の要望が、即、翌年度の実現につながります。協議会へはいつでも誰でも参加できます。伏尾台をもっと住みよいまちにするため、あなたも参加しませんか。



安全パトロール隊員も随時募集しています！

ご説明・ご相談の上、ご都合の良い日・時間帯に青色灯パトロール車でパトロールをしていただきます。安全な地域づくりのため、是非ともご協力ください。

伏尾台コミュニティだより

自分たちのまちは自分たちでつくる

倉田 晃

(2007～2010年度伏尾台コミュニティ推進協議会会長)

一年目は時間の無い中で平成20年度の予算提案事業を検討することになり、運営のまずさから設立当初の会員にご迷惑をお掛けしました。その後は反省を生かし、みなさんのご協力をいただき、本紙にも掲載されていますとおり有意義な事業を提案・実施できたと思っております。これからも「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識で伏尾台をより良くするため、この地域分権制度を大事に活用していただきたいと思っております。

高齢化を迎えた伏尾台の活性化と子育て支援の街を目指して

春山 俊一

(2011～2014年度伏尾台コミュニティ推進協議会会長)

二期目は、協議会が地域に広く認知されて活動できることを目指しました。4つの自治会並びに子供会、コミセン管理運営委員会と連携し地域の今日と明日を共に議論し合える環境作りを行ってきました。皆様のご協力を頂き、今では、子育て支援から伏小跡地活用についても話し合うことができ、地域の明日を語る事ができる協議会活動が定着しつつあります。さらに、皆様のご参加、ご協力をお願いします。